

令和3年12月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,328	274,036	273,200	273,932	836	104
2 調定水量	m ³	615,359	5,811,734	5,776,000	5,877,370	35,734	△ 65,636
3 調定料金(税抜)	円	166,012,181	1,557,101,985	1,552,000,000	1,574,589,132	5,101,985	△ 17,487,147
4 口振加入件数	件	25,028	225,973	—	226,107	—	△ 134

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,689	167,555	164,670	165,008	2,885	2,547
6 調定水量	m ³	383,636	3,542,477	3,454,500	3,543,161	87,977	△ 684
7 調定料金(税抜)	円	61,052,522	560,536,860	544,631,000	559,186,717	15,905,860	1,350,143

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,616	—	77,428	△ 812
9 給水件数	件	30,018	—	30,023	△ 5
10 開栓処理件数	件	167	2,139	2,154	△ 15
11 閉栓処理件数	件	322	2,295	2,267	28
12 給水工事設計審査	件	55	440	490	△ 50
13 給水工事竣工検査	件	55	485	640	△ 155
14 経年メーター交換	件	338	3,108	3,416	△ 308
15 メーター口径変更	件	9	56	48	8
16 督促状発送数	件	1,341	12,030	11,946	84
17 月末停止件数	件	84	—	113	△ 29

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	23	282	284	△ 2
19 排水設備工事完了検査	件	39	257	282	△ 25

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	191,861,476円	88.80%	194,799,714円	88.75%
21 過年度分	3,910,611円	97.98%	4,425,088円	97.68%
22 計	195,772,087円	-	199,224,802円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	80,428,879円	86.96%	80,828,967円	86.86%
24 過年度分	699,165円	99.12%	843,106円	98.90%
25 計	81,128,044円	-	81,672,073円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	2,515,800円	93.06%	3,490,900円	91.88%
27 過年度分	2,333,100円	12.59%	2,401,000円	27.30%
28 計	4,848,900円	-	5,891,900円	-

特記事項

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は182,790千円(税込)で、前月期に比べて734千円の減、対前年同月比では3,108千円の減となっています。営業収益は183,333千円、営業外収益は事務手数料など4,986千円となりました。特別利益は用地売却代金など141千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など96,265千円を執行し、特別損失は放射性物質測定費として、40千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金等1,156千円の執行となりました。支出は、工事請負費や職員給与費などを含む事務費として15,917千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は67,158千円(税込)で、前月期に比べて56千円の増、対前年同月比では45千円の増となっています。営業収益は67,320千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など83,307千円、営業外費用は企業債利息など158千円、特別損失として179千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、国庫補助金として1,728千円及び受益者負担金において分割納付にしたこと切り替えたことに伴い144千円の調定減となりました。支出は、工事請負費や事務費などの建設改良費として42,625千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会12月定期議会が開催されました

12月3日(金)に令和3年登米市議会定例会12月定期議会が開会し、上下水道部では「令和3年度登米市水道事業会計補正予算(第1号)」及び「令和3年度登米市下水道事業会計補正予算(第1号)」を提案し、原案通り可決されました。

補正予算については、両会計ともに人事異動に伴う人件費の補正と、下水道事業会計において、令和3年3月に宮城県沖を震源とした地震に伴う市管理合併浄化槽災害復旧事業の収入の補正について計上しました。

また、一般質問では、「人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれることによる水道事業へ経営への影響について」ご質問いただき、人口減少が進み給水収益の減少となっている中で老朽施設の更新等を行い、強靱な水道施設を構築する取組みを進めているが、将来に渡り持続的な経営を行うためには、料金改定が必要になってくる旨の答弁を行いました。

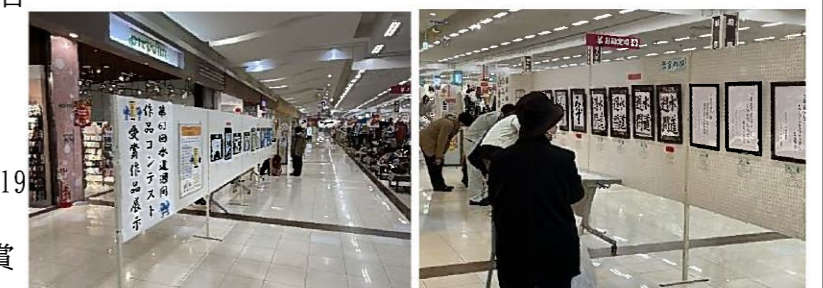
(2) 第63回水道週間作品コンテスト受賞作品の展示を実施しました

令和3年12月1日(水)～7日

(火)の期間中、イオンタウン佐沼を会場に、第63回水道週間作品コンテスト受賞作品の展示を行いました。

今回の作品コンテストには、19校の児童・生徒のみなさんから761点の作品をご応募頂き、受賞した31点を展示しました。

会場には多くの方が来場していただき、受賞作品をご覧いただきました。



【受賞作品を展示している様子】

令和3年12月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	829,550	7,476,952	7,064,800	7,432,490	412,152	44,462
総配水量	779,952	6,987,553	6,578,040	6,909,973	409,513	77,580
1 有効水量	665,227	6,216,322	6,231,400	6,407,107	△ 15,078	△ 190,785
(1) 有収水量	620,773	5,851,702	5,815,600	5,920,285	36,102	△ 68,583
(2) 無収水量	44,454	364,620	415,800	486,822	△ 51,180	△ 122,202
2 無効水量	114,725	771,231	346,640	502,862	424,591	268,369
(1) 漏水量	114,566	767,946	341,000	499,848	426,946	268,098
(2) その他無効水量	159	3,285	5,640	3,014	△ 2,355	271
3 有収率	79.59%	83.74%	88.41%	85.68%	-4.67%	-1.94%

※ 当月期の最大配水量は、31日（金）に記録した【26,927m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	1	19,626	0	0	834	95.9%
浄水施設整備事業	6	57,420	3	42,167	2	5,346	9,907	82.7%
配給水施設整備事業	54	1,164,918	32	795,866	7	104,073	264,979	77.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 下り松取水ポンプオーバーホール

12月1日（水）下り松取水塔の1号ポンプをオーバーホールのため搬出し、予備ポンプとの交換を行いました。これは、ポンプの稼働時間が2万時間経過を目安に行うものです。この作業は取水を停止して行うことから、時間制限があり4時間以内には作業を完了しなければならず、手順を念入りに検討し作業を行いました。今後も計画的な作業に取り組んでまいります。



【ポンプ搬出作業状況】

2 合ノ木・大網木浄水場の取水口の清掃を実施

12月8日（水）浄水施設等管理運転業務として、合ノ木浄水場及び大網木浄水場の取水口の清掃を行いました。これは、降雨により沢の上流から土砂などが流れて堆積し、取水口や沢の中に埋設している取水管が、目詰まりを起こすのを防ぐため、年に2回の頻度で清掃作業が必要となるものです。今後も施設を良好な状態に保つよう維持管理を適切に行います。



【合ノ木取水口作業状況】

◎ 漏水調査結果について

施設	件数	漏水量 (m³/h)
配水管	52	69.627
付属施設	0	0.000
給水装置	73	56.156
計	125	125.783

【漏水調査結果：12月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約830,198円/日当たり
算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 125.782m³/h
125.783m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	261,405	2,434,925	2,378,393	56,532		1処理場
特定環境保全公共下水道	54,848	499,664	497,904	1,760		3処理場
米谷・錦織処理区	11,652	107,368	112,151	△ 4,783		
豊里処理区	31,594	282,994	273,233	9,761		
津山処理区	11,602	109,302	112,520	△ 3,218		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,252	115,622	117,873	△ 2,251		
農業集落排水	102,258	1,001,550	1,031,901	△ 30,351		24処理場
迫地区	9,722	90,454	82,043	8,411		
東和地区	2,928	27,761	27,335	426		
中田地区	24,251	248,606	277,970	△ 29,365		
豊里地区	1,939	18,063	18,780	△ 717		
米山地区	43,442	434,915	445,345	△ 10,430		
南方地区	19,976	181,751	180,428	1,323		R3. 4. 1時点
浄化槽（特地・個排）	40,188	376,427	365,290	11,137		1,934基
合計	470,951	4,428,188	4,391,361	36,827		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	552,070	13	375,811	0	31,652	144,607	73.8%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	93	414,734	22	103,522	66	80,578	230,634	44.4%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

特記事項

1 道路に設置されているマンホールの高さ調整の実施

石越町南郷地区の県道中田栗駒線において、宮城県で実施する舗装補修工事に併せ、道路に設置されているマンホールの高さ調整を実施しました。舗装を行う時にマンホールの高さ調整を実施することで、舗装面とマンホールの段差を最小限にすることができます。交通規制などによる近隣住民や通行する車両への影響を鑑み、安全で効率的な作業とするため、一体的に施工を行うこととしたものです。



【マンホールの高さ調整の状況】

2 迫町大網地区外汚水管渠築造工事の完了

令和3年12月27日に迫町大網地区外汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、迫町大網地区、迫町梅ノ木地区、中田町大柳地区の未整備地区の汚水管の整備を実施したものです。この工事においては、管路延長L=39.25m、マンホールN=3基、汚水ますN=5箇所の整備を行いました。

○浄化槽整備事業受付状況
(12月末現在)

予定件数	受付件数 (実績)	残件数
80	86	0

※予定件数に達しましたので、受付は12月末で終了しました。